

(4) 既存ツールの活用（CCTV カメラによる状況把握の迅速化）（方策 16）

①方策の背景等

- ・災害発生直後から施設点検作業に取りかかるが、点検結果が現地から報告されるまでの間は現状では情報空白期となっており、迅速な災害対応に応える情報提供を防災担当機関等に対してできていない。
- ・一方で、現地状況の把握ができる CCTV カメラが増設されている状況にある。
- ・しかし、現状では
 - 1) 大規模地震時には見るべき CCTV カメラが膨大になることが予想されるが、それらを効率的に見られるようになっていない。
 - 2) 突発的に生じる地震時に、参集した職員ならだれでも CCTV カメラからの的確に状況を読み取れるようになってはいない。
 - 3) カメラで読み取った情報の利用のルールがなく、せっかくの情報が十分に活用されていない。

という点が見られる。そこで、これらの点を改善し大規模地震時に CCTV カメラを有効に利用し状況把握を進めその後の対応に結びつける仕組みを構築することとした。

②方策の概要

- ・以下の3つの点を踏まえた整理様式を作成した。
 - 1) 見るべき CCTV カメラを選択できるようにあらかじめ整理
→地震計ごとに、近傍に位置する CCTV カメラをリストアップ
 - 2) CCTV カメラから漏れなく確実に状況を読み取れる
→CCTV カメラで確認すべき項目をカメラ毎にあらかじめ整理しチェックリスト化
 - 3) 確認結果を報告・判断など、次の行動へ活かせる
→CCTV カメラでの確認結果を後に残る形＝様式・地図に整理（表 8-2、図 8-6 を参照）
- ・CCTV カメラで把握される各地点の状況を組み合わせ、区間としての通行可能性を推することもできる。
- ・整理様式や取りまとめ用地図への整理、整理結果の報告や利用を震後の施設点検結果が報告されるまでの間に実施し、施設点検優先順位の変更等震後対応の効率化を図る。

図 8 - 7 に CCTV カメラの活用方策の概要を示す。

表 8-2 使用する現地確認シート (例)

震度 ()		該当地震計		事務所	出張所	種別	路線名	距離標		上下の別	所在地			主要構造物及び脆弱施設名	確認事項						確認内容詳細 (発見日時、状況、通行の可否等)					
								自	至		名称	住所	連絡先		通行状況		路面状況	付属物	占用物件	のり面・斜面		橋梁	トンネル	その他		
震度 ()	観測地点名	鳴瀬堰	宮城県桃生郡鳴瀬町西福田町地内	仙台	石巻	カメラ(高感度)	45	36.8		下り	川下 1															
				仙台	石巻	カメラ	45	37.3		下り	川下 2															
				仙台	石巻	カメラ	45	38.0		下り	小野 P															
				仙台	石巻	カメラ	45	40.0		下り	小野															
				仙台	石巻	カメラ	45	40.6		下り	牛網															
				仙台	石巻	カメラ(照明あり)	三陸道	37.9		下り	石巻河南 IC															
				仙台	石巻	カメラ(照明あり)	三陸道	42.9		下り	鹿又高架橋															
				仙台	石巻	カメラ(照明あり)	三陸道	44.1		下り	河北 IC															

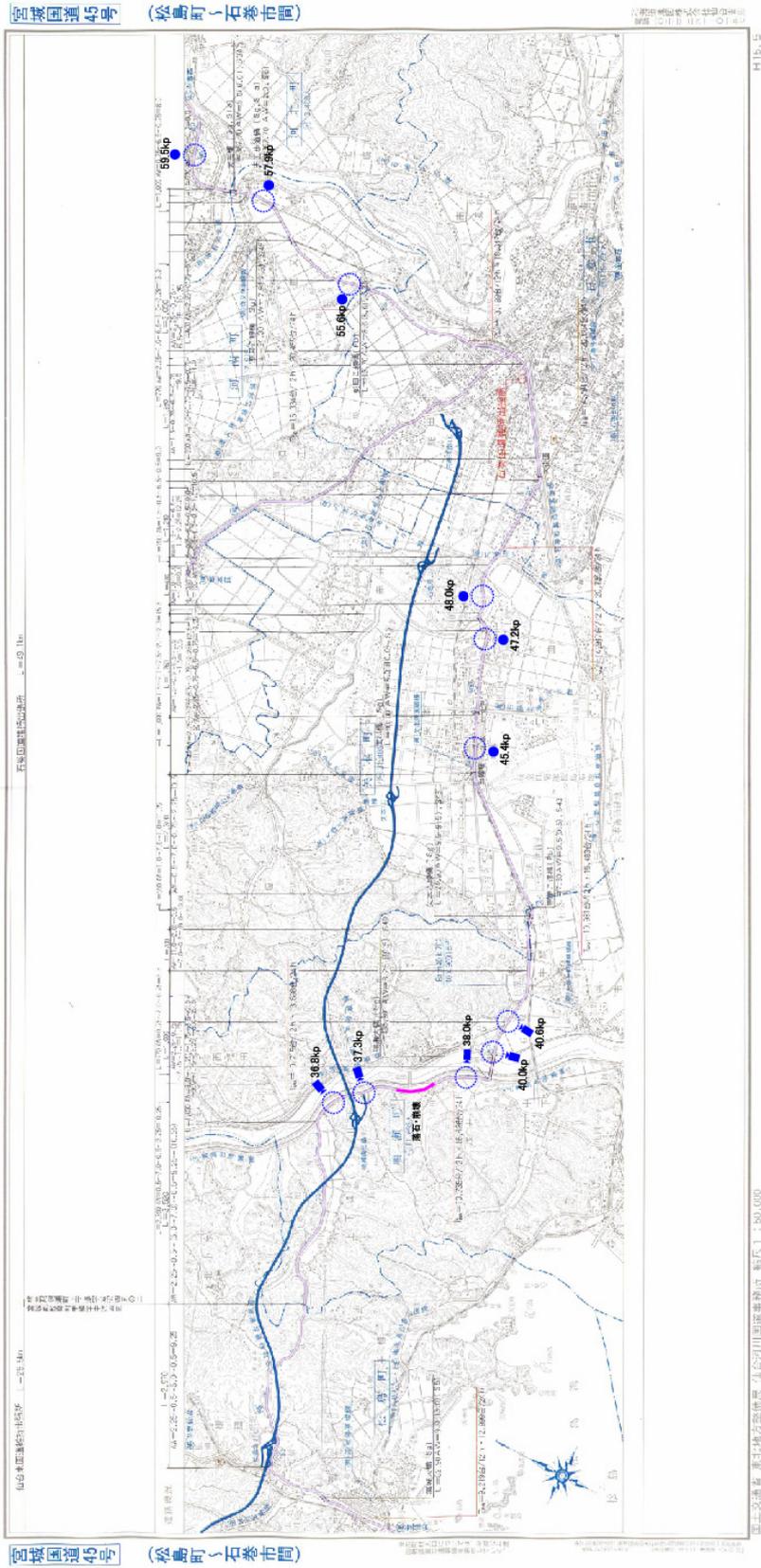


図 8-6(1) 現地確認結果取りまとめ用地図 (例)

